



情報モラルを正しく身に付けましょう

6月17日(火)に5年生が、20日(金)に6年生が、情報モラルやインターネットの活用に関する授業を行いました。5年生は、愛媛県警のフィルタリングマンによる講話で、学年全体でお話を聞きました。6年生は、松山市から派遣された特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス松山支部の方から各学級でお話を聞きました。高学年になると、家庭における携帯端末の保有率が高くなります。その分、ゲームやSNS等によるトラブルも増えていきます。犯罪に巻き込まれるだけでなく、知らないうちに自分が加害者になっていることもあります。学校では、子どもたちが、正しく情報を活用することができるように、日々、タブレット端末の利用を通して指導をしています。子どもたちが、情報等のトラブルに関する被害者にも加害者にもならないように、ご家庭でも、携帯端末の利用についてお話をさせていただきたいと思います。



【5年生(情報モラル教室)の授業後の感想】

☞ ネットに悪口を書くと犯罪になることを初めて知りました。ネットのメッセージは顔が見えず、気持ちが伝わりにくいから、文をじっくり見直してから送ろうと思いました。

【6年生(インターネット安全教室)の授業後の感想】

☞ これからインターネットを使う際には、世界の人々と繋がっていることを頭に入れて、本名や顔、小学校などの個人情報絶対に漏らさないように気を付けたい。

命の大切さ:「ダン」についての学習

潮見の誇りの一つである「目の見えない犬ダン」について、3年生が地域の方から当時のお話を聞きました。潮見小学校のHPに、ダンの話の説明や紙芝居が掲載されていますので、詳細についてはそれをご覧ください。

3年生は、総合的な学習の時間に「ダン」について学習をします。その中で、命の大切さやダンに関わった多くの人たちの優しさについて気付いていくことでしょうか。そして、学習して分かったことや感じたことを下学年に伝えてほしいと思います。

【3年生の学習後の感想】

☞ 今日はダンちゃんのことを話してくれて、ありがとうございます。ダンちゃんの話は、テレビや映画にもなってびっくりしました。ダンちゃんのことをよく分かりました。小さい子たちも、1000円や800円などをダンちゃんにあげて、病院代やご飯代にしたので、ダンちゃんは幸せだったなと思いました。私も困っている人がいたら、できることをしてあげたいと思いました。

